

# 天地

ネットワークテーブル 521号

天地シニアネットワーク 2021. 7. 16

TENTI TODAY (新聞・雑誌から)			1
会員の広場			2
語学	英会話の楽しみ(19) よく使われる言い回し(つづき)	伊那 闊歩	2
語学	中国人から見た日本人の言語表現理(25) 語気を和らげる工夫とその心理(2)	俞 彭 年	6
随想	小金井市の散歩事情 —その4—	臺 一郎	8
回顧	国立慕情(4)	津田 孚人	10
事務局			13

\*\*\*\*\*

## TENTI TODAY

\*\*\*\*\*

米国のプロ野球オールスター戦、大谷選手が出場しましたが、ライブの中継を見て大変興奮しました。初日のホームラン競争、一回戦で敗退しましたが、大谷選手の素の姿に臨場感、満点でした。新世代の登場楽しみです。同時に、日本の若者に大きな刺激を与えたように感じます。アニメの世界に登場するような理想的なヒーローの姿、日本人のみならず、海外の若者へも大きな影響を及ぼしそうです。アジア人への蔑視の解消につながると良いのですが・・

\*\*\*\*\*

テレビで見る球場の観客、ほとんどの人がマスクを着けていませんでした。サッカーのヨーロッパ選手権でのスタンドの観客も同様でした。東京オリンピックは、無観客です。

日本は対新型コロナウイルス戦略間違えました。日本は機能不全に陥っています。多額の税金を使って、国のためにも、国民のためにもなにもならない大会を開くとなれば、こんな惨めな話はありません。

\*\*\*\*\*

二回のワクチン接種が終わり、ほっとしていますが、日常生活は変わりません。旅行に、あるいは外食に行きたいのですが、世の中のムードをみれば、躊躇してしまいます。接種の終わった人は、どんどん出かけてください。お金を使ってください。とならないことに矛盾を感じます。

\*\*\*\*\*

熱海の土砂崩落、見えないところにあるリスクの恐ろしさを教えてくれました。参加者

全員がルールを守ることで、安心が生まれます。人為的ミスはつきも ですが、悪意によるルール違反は別です。トップがルール違反を平気とする日本社会、早い取り返しがが必要です。まずは次の選挙でどのような結果が出るか注目されます。

\*\*\*\*\*

### <新聞・雑誌>から

6月26日(土)日本経済新聞別刷・「NIKKEI プラス I」

日常生活でよく使うのに、語源がわからないカタカナは多い。カタカナ語の語源を5つの外国語から選ぶクイズを1000人に出题、**正答率が低かったもの**から順にランキングした。

1 インテリ (16.8%)	6 レッテル (26.1%)
2 ジグザグ (20.2%)	7 ブリキ (26.8%)
3 エクス (21.6%)	8 グミ (27.0%)
4 カンパ (23.0%)	9 コンビナート (27.3%)
5 ノルマ (24.1%)	10 半ドン (29.4%)

以上、1～10までのカタカナ単語がそれぞれ何語由来か、次の5言語の中からお選びください。

① ドイツ語②ロシア語③フランス語④オランダ語⑤ポルトガル語

**正解は最終ページにあります。**

\*\*\*\*\*

## 会員の広場

### 英会話の楽しみ(19)

伊那 闊歩(83歳)

#### 19. よく使われる言い回し(つづき)

##### 1. 変化する英語

英語の歴史について調べてみると、英語を喋る人たちのその時々感情の動きや意識の変遷について知ることができるようで実に興味深い。たとえば you は2人称単数代名詞で「あなた、君」、また2人称複数代名詞として「あなたがた、君ら」という意味でも使われることは常識中の常識だ。ところがひと昔前には2人称単数代名詞は thou「そなた、なんじ」、2人称複数としては ye「そなたたち、なんじら」を使っていたのだ。時を経て thou は you に、ye も you と言うようになったらしい。

こうして英語はささやかながら単純化されたが、このままでは単複の区別ができないので紛らわしくもなった。そこでまた単複の区別をはっきり区別するために2人称複数代名詞として男女の区別なく you guys が流行り出したのだという。

「車をお持ちですか」と訊きたいときには Do you have a car? と言えば良い。ところが

半世紀前の日本の中学生は Have you a car? というように習ったのではないか。前者はアメリカ英語で後者は英国本来の英語であるというのだ。それが現在、英国でも Have you a car? はもはや older British form として使はれなくなっているらしい。Have を先頭に持ってきたければ現在完了形にして Have you got a car? とする。ちなみにフランス語で疑問文をつくる場合、平叙文の主語と述語の順序を逆にするのが一つの方法で、この決まりはいまなお厳然と崩れることなく継承されている。英文もそうになっていたのがいつの間にか廃れてしまったようなのだ。

ひと頃より動詞の進行形を多用するようになった。たとえば、understand, love など普通は進行形にしない動詞でも

I'm loving it. (それ好きです)

I'm understanding French a lot better now. (今はフランス語がさらによくわかります) のように進行形をさかんに使うようだ。現代社会の形式張ることのない環境ではますます進行形を頻繁に使うようになると思われる:

I'm afraid we must be going. (残念ですがおいとましなければなりません)

I'm looking forward to seeing you again. (またお会いすることを楽しみにしています [to の後には動名詞がくる]) パーティーなどでも親しみやすく casual な雰囲気や環境をつくりだすために進行形を使うことになるのであろう。

## 2. Should と Would

ひと昔まえには1人称で助動詞 shall やその過去形 should を使うべきところ、現在はこれらがそれぞれ will と その過去形 would によってとって替られつつあるという。世の中の趨勢に従うか伝統を守るか悩ましいところだが、そこはそれうまくぼやかす方法を思いついたのだ。つまり、shall / will どちらか迷うときには I'll と言えば良い。同じく should / would 迷うときには I'd と言えば良いのだ。日常会話では I'll, I'd しか使わないようである。

否定文や疑問文には、この形は使えないのでたとえば

I shouldn't hold you up. (お引止めしてすみません)

Should I go to bed now? (もう寝るべきだろうか)

とハッキリ should と言わなければならない。Should と would の境界が曖昧になりつつあるとはいえ、should でなければならない処はまだまだ多く残っていて頻繁につかわれている。

should はまず義務についての表現としてよくつかわれる。見かけは過去形であるが「～すべきである、～したほうがよい」と現在の事柄を述べている:

You should start right now. (いまずぐ始めるべきだ)

同じ意味のことを言う言い方に次のようなものがある:

You had better start right now.

You must start right now.

You have to start right now.

You ought to start right now.

このうち had better は上から目線で強制するニュアンスがあるのでよほどの場合以外はつかわない。have to は must と同じであるが、must が現在形だけに限られる一方 have to は過去、現在、未来すべてにわたって変化してつかえる。should は「あなたがいまできるなら」という仮定法の含みがあり穏やかな表現なのだという。ここで I think をつけて

I think you should start right now.

と言えばさらに穏やかな表現になる。義務を表現する意味では ought to は should と全く同じである。should はこのほかに次のようにつかわれる:

You look very tired. I think you should take a rest. (あなたひどく疲れているようです。休憩したほうがいいと思います)

You should be hospitalized. (入院したほうがいいですよ)

You shouldn't drink and drive. (飲んで運転すべきではありません)

You should stop smoking. (禁煙すべきです。[stop to smoke はタバコを吸うために立ち止まる])

「～するべきだった」「～しておけばよかった(実際はしなかった)」という過去の状況を表現する時に should have + <過去分詞> としてさかんにつかわれる

I should have studied harder. (もっと勉強しておけばよかった)

You should have called the plumber. (水道屋を呼べばよかったのに)

同じ形で「当然～のはずだ」「～するはずだったのに」のような表現も:

Naomi should have got back home yesterday. Has anybody seen her? (ナオミは昨日家に帰っているはずだ。だれか彼女に会ったかね)

I'll phone Naomi, — She should be home by now. (ナオミに電話してみよう、— 今頃は[当然]家にいるだろう)

Your friends should help you. (君の友人たちがきっと助けてくれるよ)

I should be grateful for your help. (ご援助ありがとうございます)

We should arrive before dark. (暗くなる前にきっと到着するよ)

We should catch up again sometime soon. (ぜひまた近々お会いしたいですね)

If - clause や that - clause の中でも

If I should be late, start the party without me. (もし私が遅れたら私ぬきでパーティーを始めくれ)

If you should change your mind, do let me know. (もし君の考えが変わったらぜひ私に知らせてくれ)

I'm anxious that she should be well cared for. (彼女が十分な介護を受けているか心配だ)

We are sorry that you should feel uncomfortable. (ご満足いただけなくて残念です) のようにして頻繁につかわれる。

次に would について。まずは時制の一致の原則にしたがって、次の文では意志未来 will はどうぜん would になる;

He knocked at the door, but she wouldn't let him in. (かれはドアをノックした、しかし彼女はかれを入れようとしなかった)

I thought I would catch the bus. (バスに乗るつもりでした)

would は仮定法過去の文型に頻繁に出てくる助動詞なので、if 節がなくとも常に if 節が言外に含まれていて、物事を推測するような文意になる:

Naomi would explain the detail, but nobody will pay any attention. (なおみは詳しい経緯を話すだろうが、みんな彼女を無視するだろう)

I would have checked my calculation, but there was no time. ([時間あれば]計算チェックしたのだが、時間がなかった。[should でも同じ])

Would you be free next Thursday? (来週の木曜日もしかして空いてますか)

Would you care for dessert? (デザートはいかが)

Would you do me a favor? (お願いがあるのですが)

小説の冒頭などに「昔はよく～したものだ」という意味で would が頻繁に出てくることがある。少し長くなるが次の文章は KAZUO ISHIGURO: KURARA and THE SUN の冒頭部分からの 1 節である:

When I was lucky enough to see like that, I'd lean my face forward to take in as much of his nourishment as I could, and if Rosa was with me, I'd tell her to do the same. After a minute or two, we'd have to return to our positions, and when we were new, we used to worry that because we often couldn't see the Sun from mid-store, we'd grow weaker and weaker. (そんなふうにお日さまに会えた運のいい日は、顔を前に突き出し、できるだけくさんの栄養をいただこうとしました。ローザがいれば、誘って一緒に。でも、そうやっつけられるのはほんの1, 2分です。すぐにもとの位置に戻らねばなりません。来たばかりのころは店の中央にいることが多くて、お日さまに会えないまま体がだんだん弱ってしまうのではないかと心配したものです。[土屋政雄訳])

ここで I / we would はすべて I / we'd (赤字の部分)と書かれているが、それらはすべて「～したものだ」ということを意味していることをご了解いただけたらと思う。ひとつ同じ意味の used to (赤字)が使われているが、一般に would は過去の短期的で不規則な反復動作を表し「状態」を表わすことはできないが、used to は過去の

長期的な「習慣」や「状態」を表す。心配しているという「状態」を表わすことができるのは used to なのである。なお would be となる時には「状態」を表わすことができる。ただしこの部分、例外も多い。一方、be used to + <名詞または動名詞> は「～に慣れている」be のかわりに get, become を使えば「～に慣れる」という意味になる：

He is used to rock-climbing and bouldering. (かれは岩登りとボルダリングになれている)

You will soon get used to zero gravity. (君はすぐに無重力に慣れるだろう)

would が入った慣用表現にはたいへん役に立つものが多い。なかでも would you like は覚えておけばたいへん便利な定型表現で、次のように言う：

Would you like a coffee? (コーヒーいかがですか)

Would you like another drink / beer? (もう1杯飲み物 / ビールはいかがですか)

これを Do you like another beer? とは言わない。

Do you feel like beer or something else? (ビールにしますか、それとも他の飲み物がよろしいですか)

と言う。このほか

What would you like for dessert? (デザートは何にいたしましょうか)

特に would like to + <不定詞> は便利によく使われる慣用表現だ：

I would like to know more about SDGs. (SDGs についてもっと知りたいのですが)

Would you like to join us for dinner tonight? (今晚、私たちと一緒に夕食でもいかがですか)

I would like to have listened to the music, but didn't have enough time.

(その音楽を聴いておきたかったのですが、時間が十分にありませんでした)

\*\*\*\*\*

## 中国人から見た日本人の言語表現心理(25)

俞彭年(83歳)

### 言語表現心理(五)

#### 語気を和らげる工夫とその心理(2)

接続助詞「て」にも順接の動きがある。言い切るのを避けようとして、「て」を使って下へ下へとつなげていくから、総じて日本語のセンテンスは中国語と比べて長いのが特徴だ。

またある番組審議会の議事録からの例だが、「全体的にゆっくりと時間が流れて、みんなで日が上がったなら働いて、日が落ちたら休んで、一生懸命働いているんだけどゆ

っくりと暮らしていると、見てると自分の気持ちもゆっくりなるような感じを受けました。」  
「今回はフジはワールドカップバレーをやっていて、日本とドミニカの試合があって、これがフルセットになって、選挙を見たくない人はそれを見たんだろうなということで、結構視聴率がよくて、フジテレビの視聴率が民放でトップでした。」

当然レトリックの問題もあるが穏やかにソフトに不愉快な刺激を与えないように話す心理が働くと、自然と言い切らずに「て」でつなげていく気持ちが変わってくるように思える。しかし日本語を中国語に翻訳する場合、訳文のセンテンスはどうしても短く切られてしまい、日本語文のように長くならない。逆に中国語を日本語に翻訳する場合、訳者が中国人だと、訳文のセンテンスは中国語の原文通りに短く、長くはならない。これは中国人と日本人の言語表現心理が異なるからだ。

総じて連体修飾文が多くて長いのも日本語の特徴だろう。なぜそうなるのだろう。その一因としての言い切りを少なくする心理、つまり連体修飾文にすれば言い切りが一つ少なくなるという心理がある。たとえば「年率9%を超える経済成長を遂げ、発展の勢いを増す一方の中国だが、……」「小麦の穂が黄金色に実り、18日後には刈り入れを迎えるころだった。」「……低所得の農民や失業者の増大は放置できない問題だ。」

連体修飾文は描写であって断言ではないので、連体修飾文を多くすることによって同じ量の情報を伝えると同時に断言の語気を少なくするよさが生まれる。断言の語気が少なくなれば、聞く人には穏やかにソフトに控えめに聞こえてくる。それに不愉快な刺激を与える可能性も少なくなる。

連体修飾文は書くときに思考時間がとれる文章に多く、逆に思考時間があまりとれない会話などには少ない。当然、個人差もある。連体修飾文を中国語に翻訳するときはやはり切り離されて、一つのセンテンスに訳される場合が多い。これも中国人と日本人との言語表現心理が異なるからだ。

逆らわず世に同調して物言いする工夫もいろいろあるようだ。いわゆる「世に同調する」とは世の規範、通説、主流、常識などに従うことだ。開口一番に言う「やはり」や「やっぱりですね」や「そうですね、やっぱり何じゃないでしょうか」や「そうですね」などは「世に同調する」姿勢を示す言葉であり、典型的な工夫だろう。

たとえば「やはり前の委員の方も言われたように、話が少し平たんですかね、……」それから「ご存知の通り、……」や「ご存じのように……」なども同調の姿勢を示す表現であろう。

相手に合わせて話を進めていく工夫もたくさんある。その典型は相づちを打つ「ハイ」や感嘆助詞「ね」や「そうですね」などの多用だろう。

相手に合わせて話を進めていくことはまさに中国の「和而不同」である。つまり和し

て話す内容は同じではないのだ。これでこそ全体的雰囲気や和となり、その中で異なる内容の対話が進んでいく。

\*\*\*\*\*

#### 小金井市の散歩事情—その4—

臺 一郎 (75歳)

これまで三回にわたり小金井市の散歩事情や散歩環境を紹介してきた。市民の一人として小金井市の散歩事情や散歩環境を改めて思い返してみると、少なくとも周辺の市や区と比較して特に劣ってはいない、否それどころか中々に良いのではないかとさえ思えてくる。何十年間と小金井市に暮らしてきた人間の身贖いかもしれない。そこで今一度小金井市の散歩事情や環境について総括してみた。

小金井市の南部には通称“ハケ”と言われる崖があることは既に何度も紹介した。この崖上の武蔵野台地と崖下の早くから開けた平地との間には、江戸時代から地元の農民や住民などが利用してきた、ムジナ坂、白伝坊の坂、念仏坂と言った、いかにも謂われや由緒のありそうな名前の坂道が多数ある。これらの坂の途中には坂の名の謂われなどを書いた小さな看板や柱が設置されており、それを読むと、はるか江戸の昔に農民や通行人がどのような思いでこの坂を昇り下りしたのかが想像される。

これらの坂を下りた先の平地には、西の国分寺方面からうねりながら東の調布方面へと流れる野川があり、それに沿って散歩道や遊歩道が整備されている。この川は小金井市の東の境界付近で都立武蔵野公園や都立野川公園と接して或いは横切るように流れている。既述したように、小金井市の北側部分には都立小金井公園が存在するから、小金井は市内とその周辺に大きな都立公園が何と3つもあることになる。さらに公園ではないが、都立小金井公園の北側は名門ゴルフ場の小金井カントリークラブが接しており、逆に市の南の境界には、緑豊かな都立多磨霊園が立地していて春ともなればお花見目当ての人々が園内を散歩する。かように小金井市は公園環境や緑地環境に恵まれた都市なのである。

さて、“はけ”の崖の傾斜地や崖下のそこそこには、武蔵野台地の下を流れてきた地下水が湧水となって湧きだし、崖下の神社の池を満たし、或いは小さな清流となって野川に流れ込み、野川の流量の安定に寄与している。こうした小さな清流はそれに沿ってしばしば小径が作られていて、透明度の高い水が軽やかで清らかな音を立てながら流れている。その環境は辺りの静けさと相まってそこを歩く者の気分を少なからず癒やしてくれる。

一方崖上の武蔵野台地上はと言えば、東西に走る JR 中央線の北側約 1 kmに今

から 380 年ほど前に完成し通水された玉川上水とそれにそった緑道があり、古くは江戸時代から昭和 30 年代頃までは東京でも有数の桜の名所として春には大勢の花見客で賑わった。さらに上水の北 300m には広大な都立小金井公園があり、園内の雑木林や幾つもの広場を縫うように配置された散歩道やサイクリングロードが整備されている。

小金井市に限ったことではないが、市内に歴史上の出来事の現場や小説などの舞台になった場所があったならば、ちょっと行ってみたいと思う人は少なからずいるだろう。小金井市の場合、教科書に載るような歴史上の出来事の現場はないが、玉川上水の小金井橋付近は安藤広重が江戸近郷のお花見の名所として浮世絵に描いており、それを紹介する案内板が設置されている。案内板には広重の浮世絵がカラータイルで再現されており、絵と同じ富士山の見える方角に目を向けながら、「なるほど江戸時代のこの辺りはこんな景色で、富士山がこんな感じで見えたのだな」と納得してみるのも散歩の楽しみである。

また国木田独歩が恋人信子と歩いた玉川上水の桜橋付近や、独歩の代表作「武蔵野」の舞台となった雑木林を想像する、或いは大岡昇平の「武蔵野夫人」の舞台になったとされる小金井市のハケの崖下にある現・ハケの森の美術館辺りを歩きながら、主人公である秋山や勉や道子達の、ハケと寄り添うような生活や危なげな人間関係を想像するのも小金井散歩の楽しみである。

ところで小金井市役所は市民の散歩ニーズやウォーキングニーズを満たすために、市内各所に遊歩道を指定・整備している。それらの殆どは幅が 2m にも満たない未舗装の小径だ。距離は長いものでも 500m 程度であり、むろん歩行者専用である。遊歩道の数は市が作成した「小金井の坂と遊歩道」という地図に出ているものだけで 16 本ほどにもなる。多くが元々は江戸時代に玉川上水から分水して、台地上を網の目のように張り巡らした農業用水路が昭和の後半にその役割を終えたために、埋め立てられ遊歩道として整備されたものだという。

こうして見ると玉川上水は、江戸時代の初期に多摩川から江戸市中に飲み水用の上水を安定供給しただけでなく、水路が開削された武蔵野台地での新田開発や農民の定住土着を促進し、8代将軍吉宗が土手に桜を植樹したことにより江戸近郷では有数の桜の名所となるなどの多様な経済効果をもたらした。さらに第二次大戦後は役目を終えた農業用水路を埋め立て、遊歩道とすることで市民の憩いや散策のニーズを満たしたのである。

“ハケ”の崖の坂道と玉川上水と野川の流れなくて、小金井市の散歩事情は語れないが、おかげで小金井市の散歩環境は中々に奥行きのある、味わい深いものとなったのではあるまいか。

さあ皆さん、よろしかったら小金井市に散歩においでください。

\*\*\*\*\*

国立慕情 (4)

津田孚人

(84歳)

日曜夜のNHK大河ドラマ「青天を衝け」、ドラマはこれから佳境に入るのでしょうが、主人公の渋沢栄一は、一橋大学にとっては大恩人です、渋沢栄一の支援がなければ、一橋大学は存続しなかったと言えます。大学の歴史の中では、申酉事件として知られる一番の危機を迎えた事件があり、「申酉籠城事件史」:(著者・依光良馨・発行・申酉籠城事件記念事業実行委員会・平成3年10月7日)という記念本が発行されています。渋沢栄一は、外部からの支援者、救援者としてたびたび登場します。一度、二度ではないので、そこには、渋沢栄一の理念にもとづく何らかの動機があったと思われませんが、それはそれとして明治時代の文部行政の一端を知ること、意義はありそうです。

歴史は、姿、容を変えながら繰り返されます。「申酉籠城事件史」には、当時の時代背景、渋沢栄一らの支援が逐一書かれています。また、夏目金之助も登場しています。現在日経新聞朝刊に連載中の「ミチクサ先生・作・伊集院静」の主人公、申酉籠城事件関係者には、天敵だったように見えますが・・・。

事件は、明治41年4月、政府が、帝国大学法科大学に経済学科を新設すると決定し、公表したことから始まりますが、その前に、そこに至るまでの経過(歴史)を振り返ります。江戸時代、土農工商と一番見下されていた商業が、明治に入って列強に伍するために重要視されて、大きく社会的な発展を遂げていきます。しかし、商業を相変わらず低く見る人もいました。一橋学園の歴史は、まさしくその象徴になるかと思いますので、学園の歴史を見ることにします。

一橋学園の始まりは、森有礼(元薩摩藩士・明治18年に文部大臣)が明治8年に開設した、**私塾・商法講習所**。<商業に学問は不要だ>という風潮の中でしたので、設立は難航しました。この窮状を救ったのが、富田鉄之助、**渋沢栄一**、福沢諭吉、勝海舟、大鳥圭介、大倉喜八郎、等で、銀座二丁目の鯛みそやの二階(旧銀座松坂屋のあった所)を借用し、これを仮校舎として、開校しました。ところが商法講習所が開校して2ヶ月後の明治8年11月に、森有礼が北京駐

清国全権公使として赴任したため管理人不在となり、当時、東京会議所会頭だった**渋沢栄一**、益田孝（三井物産の開設者）等の尽力により、商法講習所は東京会議所が管理を引き受けました。

明治9年5月、京橋区木挽町に校舎が落成、東京府が管理を引き受けますが、「東京府の財政が厳しい」「東京府は一地方、外貿貿易は無関係」「外国貿易実務、簿記をすべて英語で学習高級な学校は無用」「管理運営費は出すべきではない」など、府議会で反対があり、明治14年7月、東京府知事名で、**東京府立商法講習所の廃校**が公表された。

**渋沢栄一**は、救いの神となって奔走し、農商務卿河野敏謙に強く働きかけ補助金を貰い、矢野校長の私財、一般からの寄付で露命をつなぎ、3年後の明治17年3月、商法講習所は正式に農商務省の管理下に移され、官立（現在の国立）の学校になった。

そして**東京商業学校**に改称、明治18年5月、前年から文部省御用掛りとなっていた森有礼は、農商務省の管理から文部省へと管理を移した。同年9月には東京外国語学校・同付属高等商業学校と合併、校名は東京商業学校を継続、新校長は矢野二郎（旧東京商業学校校長）、授業は、神田一橋通り一丁目にあった旧東京外国語学校の校舎で行われた。一橋にとっては実に都合の良いことであり、旧東京外国語学校からは<一橋に乗っ取られた>とぼやかれたとか・・・

新しい東京商業学校は、一部・高等商業、二部・商業、三部・外国語の授業を行い、途中で外国語の授業を廃し、明治20年10月に**高等商業学校**と改称、明治22年3月に創立以来最初の正式な「第一回卒業証書授与式」が行われた。この時には有栖川宮、大臣、枢密顧問官、各国公使、その他朝野の名士が多数参列、きわめて盛大だった。

この頃になると、学生たちの学友活動も活発になり、「学友会」が4月にでき、「創設以来の実務と実技を中心とする『前垂れ掛け式の教』を乗り越え、より高度な学制へ移行すべきである」という強硬な主張などがでてくるようになった。矢野校長排斥運動などもあり、卒業生はいるものの卒業式は2年間なく、第二回卒業式は明治25年に行われた。

日清戦争（明治27年）が勃発し、翌年講和条約締結、賠償金などを基礎にして明治30年3月に金本位制が採用され、国運が隆盛発展の一路を取り始め、一橋学園にも4月に付属外国語学校が再び付設された。

六月には予科一年、本科三年の上に専攻部（一年制。二年後には二年制）という大学並みの研究課程が設置されることになり、32年3月には教員養成所が設置された。

しかし、付属外国語学校は、明治32年4月4日、東京外国語学校と言う独立の学校に変更され、高等商業学校から分離されて、一ツ橋の外にある大学講義室のあとに新築されつつあった校舎へ移転していったが、明治34年には、「専攻部の卒業生は商学士と称することを得」ということになり、一橋学園は大学としての地歩を固め始めていく。そして学園内に、にわかに「商業大学必要論」がくすぶり始め、福田徳三、佐野善作などヨーロッパ諸国に留学中であった先輩教授からの「欧米商業教育の実態報告」が弾みをつけた。

これにパット油を注いだのが、明治33年7月1日に高等商業学校講堂で行われた「**渋沢栄一**還暦並びに男爵叙爵祝賀会」の席上、**渋沢男爵**がいった「自分は兼ねてから本校を大学に進めたという念願をもって来た」という言葉だった。学園内部だけの論議が一気に公の問題になった。

明治35年、勅令で神戸に新設されことに決定していた第二高等商業学校が、急に4月1日付で、「神戸高等商業学校」と改称されて発足することになり、神田一ツ橋の高等商業学校も「**東京高等商業学校**」と同じく改称された。

日露戦争で中断されていた「商業大学必要論」は、戦後「商業大学必要論」に変わり、政治問題に発展して明治40年2月に衆議院、3月に貴族院で「商科大学設置に関する決議案」が可決された。

そして、この時期に帝国大学法科大学の政治科を改造して商科大学にすればという案があるのを知り、同窓会が動き、牧野伸顕文相に松崎校長から「現在の組織を改造し三年の予科、三年の本科、を合わせた六年制大学と、高商と同程度のもの（専門部）とからなる商科大学を作るべきである」と答申を提出しますが、話は進まずいるうちに「帝大内に商科大学を置くべし」という意見が公然化していった。

文部省と一橋との交渉は空転、政府は明治41年（戊申の年）4月30日、帝国大学法科大学に経済学科を増設すると一方的に決定し、これを公表した。一橋学園にとっては、一大ショックであった。

(つづく)

\*\*\*\*\*

## 事務局

\*\*\*\*\*

### カタカナ語の言語 解答

- 1 ロシア語 2 フランス語 3 オランダ語 4 ロシア語 5 ロシア語  
6 オランダ語 7 オランダ語 8 ドイツ語 9 ロシア語 10 オランダ語

\*\*\*\*\*

<投稿>を歓迎します

天地シニアネットワーク・テーブル・522号

発行:2021年7月16日

天地シニアネットワーク事務局 (津田 孚人)

〒116-0001 荒川区町屋3-2-1

ライオンズプラザ町屋703

メールアドレス: [tentisenior06@gmail.com](mailto:tentisenior06@gmail.com)

電話・FAX 03-3819-7651